

# 常滑市公共施設アクションプラン改訂（案）に対するパブリックコメント実施結果

## 1. アクションプラン改訂（案）のパブリックコメントについて

### （1）実施概要

募集期間：令和7年1月25日（土）～2月26日（水）

提出方法：持参、郵送、メール、FAX

周知方法：広報とこなめ2月号、市ホームページ、市公式SNS

閲覧場所：市庁舎（企画課）、青海・南陵公民館、文化会館、体育館

### （2）実施結果

提出者数：10名（持参4名・郵送0名・メール6名）、1団体（メール1件）

意見総数：49件（1人又は1団体で複数の意見があるため、意見総数と提出者数の合計は一致しません。）

カテゴリ	意見の数	カテゴリ	意見の数	カテゴリ	意見の数
図書館の立地	12件	図書館法に則った図書館	3件	その他（図書館に関するもの）	4件
図書館の整備・規模	9件	図書館のサービス	3件	その他(プラン全般等)	2件
図書館の今後の進め方	8件	「居場所」としての図書館	2件		
既存の図書館との関係	5件	図書館を単独整備するに至った経緯	1件		

### (3) 意見への対応

プランは軽微な修正（一部、文言の追加）のみ行い、図書館に関する意見は今後の図書館検討の参考とします。

## 2. 意見概要及び市の考え方（提出された意見は、言い回しなど、一部、編集しています。）

### 1-1 図書館の立地に関する意見（7/12件）

意見概要	市の考え方
<p>場所は公共交通機関を使って行きやすいところにしてほしい。移動は自転車を中心なので南陵も青海も遠く、グリーンで行ってもとても時間がかかる。</p>	<p>新たに整備する図書館の候補地は、今後、有識者及び市民を交えた検討委員会で検討していく予定です。いただいたご意見は今後、<u>図書館の検討の参考</u>にさせていただきます。</p>
<p>利用者の利便性を考慮してほしい。市民が高齢化していくことを考えると、<u>公共交通機関を使って行ける場所</u>に整備してほしい。</p>	
<p><u>交通の便が良く、子供からお年寄り、障害のある方々が行きやすい場所</u>であることが重要であると考える。</p>	
<p>書籍や文化財の保管場所でもある図書館であるから、<u>津波や浸水の心配のない場所</u>にしてほしい。</p>	
<p>新図書館の建設場所は<u>津波、洪水等自然災害の危険のない場所</u>にしてほしい。市民病院、消防署、市役所と整備してきたこの方針を守ってほしい。現在閉架を設置している青海公民館は水害ハザードマップ（高潮）で浸水地帯に囲まれ孤立しているので、貴重な資料を保存するには適さない。</p>	
<p>市役所、消防署、市民病院の整備経過を見ても、<u>海岸近くや洪水ハザードマップで指摘されるような場所に新図書館本館を置くべきでない</u>。 ちなみに、現在閉架建屋のある青海公民館は内水の洪水危険があり、後世に残すべき貴重な資料を早く安全な場所に移すべき。</p>	
<p>貴重な資料を保管する場所なので、<u>津波等の災害の心配のない場所</u>であることが第一の条件と考える。</p>	

## 1-2 図書館の立地に関する意見（5/12件）

意見概要	市の考え方
<p>ここ数年の自然災害の実態から考えて、設置場所は高所に建てる必要がある。海に面している常滑市にとっては大前提になる。市の財政面から考えても、<u>旧常滑高校跡地</u>が適している。市の中心にあり、環境面も優れている。INAXライブミュージアムと繋がっている。陶の森も近い距離にあり、文化の杜としての図書館にふさわしい場所と思う。</p>	<p><u>新たに整備する図書館の候補地は、今後、有識者及び市民を交えた検討委員会で検討していく予定です。</u></p>
<p>来年度策定予定の基本構想の中に図書館の建設場所、規模、機能などが含まれると思うが、場所については<u>旧常滑高校の跡地</u>を利用するのが一番良いと思う。</p>	
<p><u>旧常滑高校跡地</u>は、低くなく、広さもあり、INAXライブミュージアムが隣接しており、文化的な拠点に整えていくのにとっても良いと感じる。</p>	
<p>財政状況の厳しさ、ニーズの変化を考え、それに加え、経費の抑制・財政負担の軽減から考えたとき、耐震性、津波の心配がない<u>旧常滑高校跡地</u>の活用してはどうか。理想に近づける周りの環境・拡大する土地があるので、将来ニーズに合わせ改築、拡大できやすい。何よりも早期の支出が抑えられる。</p>	
<p><u>旧鬼崎公民館周辺</u>も住民の利用が活発で駅も近く、常滑高校も近いので場所としては良いと感じる（グラウンド等の利用ができなくなると利用者にはマイナスになるので、余剰土地等あるのか検討してほしい）。</p>	

## 2 図書館の整備・規模に関する意見（9件）

意見概要	市の考え方
<p><u>単独整備の方針に賛成する。</u> 本館がなく市民が不便を強いられている状態は速やかに解消されるべきである。</p> <p>「図書館整備」となっているが、「<u>新図書館本館の建設</u>」と解釈する。</p>	<p>図書館は「<u>単独整備</u>」とし、<u>具体的な手法</u>については、今後、<u>有識者及び市民を交えた検討委員会</u>で検討していく予定です。</p>
<p><u>図書館の延床面積が1,447㎡から1,500㎡になった根拠について知りたい。</u>例えば、ジャンルに整理された開架室・資料展示室などのスペースを設置するとしたら、最低どの位の面積が必要かを考えていく必要があると思う。</p> <p><u>延床面積が壊された旧図書館とほぼ変わらない根拠を知りたい。</u>市民の同意がないまま、常滑から図書館がなくなったことは、それを利用する権利がなくなったことである。特に次世代を担う小中高生にとっては大きな損失である、この大事な期間、無くした責任から考えても、この小中高生・若者の意見を広く聞き、これからの図書館はどうあるべきかを考えてほしい。到底この面積にはならない。</p>	
<p><u>延床面積は、過去の常滑図書館を例にするのではなく現在・未来型の図書館の形を考慮し、他自治体の最新の設備等も参考にしてほしい。</u>人が集う場所としての図書館の機能である。</p>	<p>アクションプラン案で示している図書館の面積は、<u>市民アンケートで図書館のあり方に関して「旧本館廃止前と同規模」の選択された割合が最も多かったことから、規模を検討する目安として設定したものです。</u></p>
<p>図書館の果たす役割は何か、どのような機能が必要か、それを実現するため<u>どんな図書館が求められているのか</u>を考えて、<u>延床面積を決めてほしい。</u></p>	<p><u>新たに整備する図書館の規模は、今後、有識者及び市民を交えた検討委員会</u>で検討していく予定です。</p>
<p>旧図書館の床面積が1,447㎡、アクションプランでは1,500㎡との案であるが、これでは狭い。一般的に図書館の果たしている役割は40年前より多岐に渡り、<u>40年前の旧図書館の広さとほぼ同じ床面積では、不十分と考える。</u></p>	
<p>新図書館本館の規模は、果たすべきサービスの内容を前提に「<u>検討組織</u>」で議論されると期待するが、<u>明確なのは1970年に建てられた旧本館の規模では、現代の図書館サービスへの要求にも、ましてや30年後の要求に応えられないのは明白である。</u>十分な議論をお願いしたい。</p>	
<p>資料の貸し出しと財産の保存は重要な機能の考え方にプラスして知と地と人のつながりの場としての将来の図書館を構想すると、その<u>機能を果たすために広さは重要な課題</u>となる。</p>	

### 3 図書館の今後の進め方に関する意見（8件）

意見概要	市の考え方
<p>構想の視点の一つでもある<u>施設ニーズの変化</u>を、どう捉えどう図書館建設に繋げていくのか、熟考しながら考えていくことが必要だと思う。今までの歴史を大切にしながら新しい時代の図書館のあり方について具体的な施策を考えていきたいと思う。</p>	
<p>図書館サービスを市全域にくまなく届ける手段は「<u>検討組織</u>」が議論する内容だが、特に<u>高齢の方、移手段の限られる方への配慮</u>をお願いしたい。</p>	
<p>現代の図書館への多様な要望を踏まえ、これからを見据えた機能とそれを果たすための規模が必要と考えるが、これも「あり方検討」すべき。 市財政再建のために、図書館機能の改革や、アップデートが永らくなされてこなかった。<u>この機会に「あり方検討」で図書館機能を改革したい。</u> 特に高齢者の図書館への行きやすさ、利用しやすさの問題は重要。</p>	<p>今後、検討にあたっては<u>ニーズ、図書館を取り巻く状況変化、立地、施設規模、サービス内容、財政負担など</u>様々な観点から、<u>将来にわたって必要とされる常滑市にふさわしい図書館</u>について考えていきます。</p>
<p><u>町づくりや人づくり、子育ての視点から</u>考えてほしい。</p>	
<p>高齢者の本の貸し出しの便宜をどう図るか、視聴覚資料の収集および活用をどう図るか、かつての青空号のような移動図書館の復活をどうするか、学習室・展示室等どうするのか等も<u>具体的に論議するところから始めてほしい。</u> 常滑らしさ（常滑焼・谷川徹三・鈴溪塾）を大切にした特色ある図書館にしてほしい。</p>	
<p><u>市民の声・意見を聞いて決めてほしい。</u></p>	
<p>単独整備の方針が決まれば、「<u>有識者や市民等で構成する検討組織を立ち上げ</u>」てい、「<u>専門家をアドバイザーとして迎え、助言を受けながら検討を進め</u>」、「<u>議論された内容や進捗状況は市民に広く知らせ</u>」てほしい。</p>	<p>来年度から有識者及び市民を交えた検討委員会で検討するとともに、<u>市民対象のワークショップも合わせて実施する予定</u>です。検討状況は市ホームページ等を通じて、<u>情報発信していく予定</u>です。</p>
<p>また他の自治体の新しい図書館を見に行くと本をどんな人でも簡単に借りられる工夫。司書さんの本を管理する対応力や図書館を訪れた方へのリファレンスサービスなど機能としては非常に多岐にわたると思う。そういった<u>優良な図書館を例に取り組みでほしい。</u></p>	<p>具体的な機能やサービス内容については、<u>他自治体の事例も参考</u>にしながら検討します。</p>

#### 4 既存の図書館との関係等に関する意見（5件）

意見概要	市の考え方
<p>南陵公民館と青海公民館の図書室をどうしようとしているのか、記されていない。細長い本市なので、両公民館の図書室は必要である。しかし、旧図書館の閉館を受けて両公民館のロビーは、子ども図書室になり、定着している。一方、市民交流センターのロビーは市民が活発に利用していることからわかるように、公民館のロビーは市民の文化的自主的活動にとって必要である。</p> <p>図書館の整備にあたり、<u>将来の図書館像（どのような図書館にするのかの全体像）を明らかにした上で、南陵公民館と青海公民館の図書室の整備、つまり子ども図書室にしておくのか、ロビーに戻すのかも含めて考えてほしい。</u></p>	<p>既存の図書館の位置づけや方針などは、新たに整備する図書館と併せて、今後、有識者及び市民を交えた検討委員会で検討していく予定です。</p>
<p>2020年に「日本館の閉鎖を決め、青海分館に本館機能を移した」事は、あくまで次の本館建設までの一時的な処置だった。</p> <p><u>一時的な処置なので、青海、南陵両公民館の機能を一部転用したもので、新本館建設によって図書館利用者の不便を解消するとともに、両公民館の機能を戻して公民館利用者の不便をも消さなければならない。</u></p>	
<p><u>「検討組織」には新図書館本館設置後の青海・南陵両公民館内の拡大された図書館部分をどうするか、図書館の基本構想と並行して議論してほしい。</u></p>	
<p><u>単独整備の中央図書館が出来たら、既存の3図書館と連携をし、その役割を明確にし、相互に生かし合う施設になっていくといいと思う。</u></p>	
<p><u>現在の本館のある青海公民館は、市域の北の端にあり、また水害の危険もあるので、閉架などをそのまま残すことに反対します。</u></p>	

## 5 図書館法に則った図書館に関する意見（3件）

意見概要	市の考え方
<p>新図書館本館は図書館法に則った図書館にしてほしい。図書館利用者の大きな権利である著作権の免責が復活する。</p>	<p>具体的な方針は今後、有識者及び市民を交えた検討委員会で検討していく予定です。            いただいたご意見は今後、図書館の検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>一時的な処置なので、新図書館本館は図書館法に則った公共図書館という市条例にもどし、犠牲になっていた「著作権の免責」など、利用者の権利を回復しなければならない。</p>	
<p>図書館法に適合した図書館にしてほしい。</p>	

## 6 図書館のサービスに関する意見（3件）

意見概要	市の考え方
<p>昔のような青空号があると助かる。</p>	<p>具体的な機能やサービス内容については、今後、有識者及び市民を交えた検討委員会で検討するとともに、市民対象のワークショップも合わせて実施する予定です。            いただいたご意見は今後、図書館の検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>講演会や研究会もやれる場所がほしい。</p>	
<p>借りたい本が置いていなくても頼んでおけば探してきて貸してほしい。</p>	<p>現在も愛知県内の図書館及び県外の図書館（東海・北陸地区に限ります）から借用することができますのでご案内します。            詳しくは下記ホームページを参照ください。            URL：<a href="https://tokoname-lib.jp/information.html">https://tokoname-lib.jp/information.html</a></p>



## 7 「居場所」としての図書館に関する意見（2件）

意見概要	市の考え方
<p>朝から新聞をゆっくり読めるような空間であったり昼には子連れ、夕方・夜には学生や大人など生活に潤いを与える場所であることは今も現在も変わらないと思う。私たち市民にとって全世代に対応した常滑にしかできない図書館をじっくりと取り組んでほしい。新しい図書館には生活に潤いを与える空間であってほしいし、全世代に対応した常滑にしかできない図書館を、じっくりと取り組んでほしい。</p>	<p>具体的な機能やサービス内容については、今後、有識者及び市民を交えた検討委員会で検討するとともに、市民対象のワークショップも合わせて実施する予定です。いただいたご意見は今後、図書館の検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>調べものをしたい時や本を読みながらほっとしたい時などの居場所がほしい。</p>	

## 8 図書館を単独整備するに至った経緯に関する意見（1件）

意見概要	市の考え方
<p>改訂内容として、<u>図書館が複合から単独整備となったことの経過と意義が知りたい。</u> また、<u>どの地に整備されるのか、その候補と裏付けを知りたい。</u>自然に囲まれた環境の中にある図書館を望む。</p>	<p>昨年度末から図書館等に関して関係団体へヒアリングを実施しました。今年度には、<u>市民ニーズ等を把握するため、市民アンケートを行い、市議会(特別委員会)での検討意見等を踏まえ、単独整備の方針案をお示しました</u></p> <p>市民アンケートでは、新しい図書館に身近な居場所を求める意見の他、青海・南陵地区の図書館を維持しつつ、市の中心部に早期整備を求める声がありました。さらに複合化には拘らないとする意見の割合が高く、図書館以外の施設の検討に時間を要することなどから総合的に判断し、複合化から単独整備に改めたものです。</p> <p><u>新たに整備する図書館の内容は、今後、有識者及び市民を交えた検討委員会で検討していく予定です。</u></p>



## 9 その他（図書館に関するもの）4件

意見概要	市の考え方
<p>常滑市の文化に関しての位置づけと意義が明らかにされていくといいと思う。            （例：日本に誇れる文化の拠点としての常滑をどうとらえるか。）            例：常滑が生んだ有名作家・常滑窯業等の歴史を子どもにもわかりやすいように工夫する。</p>	<p>いただいたご意見は今後、<b>図書館の検討の参考</b>にさせていただきます。</p>
<p>図書館はほかの施設と違い市の文化度が問われる。常滑市に關係する歴史的価値のある資料類の保護・研究を行う。市の歴史を知る事が未来の常滑につながる歴史に学べの視点</p>	
<p>図書館機能の在り方は街づくりの核とも、将来への投資と言える。</p>	
<p>空港・国際会議場のある常滑は国際文化都市として今後も発展する人との出会いの場であり、インテリジェンスをかもし出す雰囲気をもっている<b>図書館の存在は大きい</b>。もっと身近に考えれば誰もが無料で学べる公共の場でその利用体験は子ども達の育成にとって<b>重要不可欠である</b>と思う。</p>	

## 10 その他（プラン全般等）2件

意見概要	市の考え方
<p>P19の「V 公共施設マネジメントの基本方針」には「5. 耐震化の実施」に加えて、<b>災害時の避難所の機能を持つ公共施設という位置づけ</b>も必要ではないか。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえて、一部、<b>記載内容を追加</b>します。</p> <p>今年度は現在、実施しているものも含めて、9つの計画でパブリックコメントを実施しています。  <b>パブリックコメントは基本的な計画などを案の段階で公表し、市民から意見を募ったうえで意思決定を行う手続</b>であり、いただいたご意見はよりよい計画づくりに生かしています。  <b>本計画でいただいたご意見についても、今後の公共施設マネジメントの推進に生かしていきます。</b></p>
<p>これまでにパブリックコメントで、市民の声をどう取り上げ、集約して施策に生かしてきたのか、また今後生かしていこうとしているのかを教えてください。</p>	

### 3. 今後の進め方

---

- パブコメ実施結果について市議会へ情報提供
- 3月下旬にアクションプラン（中期）を策定、市議会へ情報提供
- 4月1日からアクションプラン（中期）のスタート